

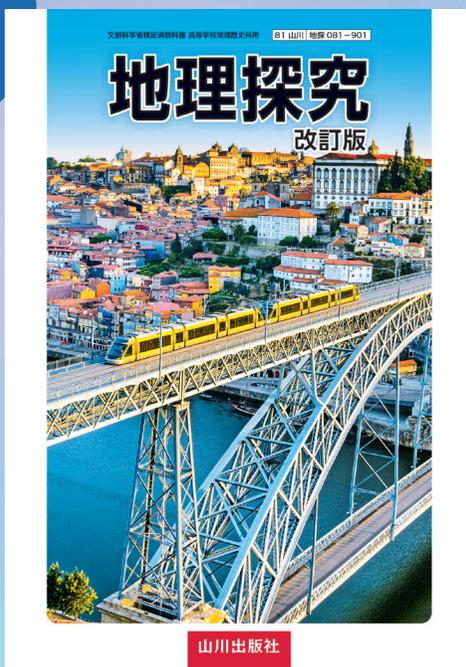
教科書内容解説資料

地理探究

ADVANCED GEOGRAPHY

確実性と豊富な知識
山川の地理探究

令和9年度用
(2027年度用)



内容解説資料

教科書から
学びをひらき、
未来に豊かさを
結び続ける。



YAMAKAWA ADVANCED GE

教育現場を支える 山川の地理探究

世界を 読み解く力

地理的な見方・考え方を養う

情報を 使いこなす力

情報を収集・分析し、
論理的に表現する

学びを継続させる サポート

授業も評価も徹底的に
バックアップ

NEXT ▶

山川出版社の地理探究では、以下のような力を身につけることができます。第一に「地理的な見方・考え方」を使いこなし、「場所」や「つながり」という視点から、その背景にある理由や要因を多角的に導き出す力です。さらに、地理的技能を駆使して、情報を収集・分析・表現する力です。GIS(地理情報システム)を含む多様な資料から情報を的確に抽出し、「地理的な諸事象を論理的に説明し、自分の考えを表現」する力、すなわち根拠に基づいた論述・発信力を習得することができます。それを支えるために、教師用指導書をはじめ各種の準拠教材、サポート教材を取り揃えて先生の授業をバックアップします。

山川が先生方に選ばれる理由

01



世界を
読み解く力

地理の教科書を長らく発行してきた 旧二宮書店のイズムを 継承する地理探究

系統地理的な視点から世界共通のメカニズムを理解し、地誌的な視点からその土地独自の文化や歴史を理解します。2つの視点から「世界の姿」を捉え、地理探究の深い学びにつながります。

02



世界を
読み解く力

現代世界の地球的課題を 探究するコラム・特設ページ

世界で起きている地球的規模の課題について、コラムや特設ページで現状と課題、解決に向けた取り組みなどを取り上げ、地球的課題を遠い世界の話ではなく自分ごととして捉えて考察することを促します。

03



情報を
使いこなす力

読図・データ分析力などの 地理的技能を強化できる

地理院地図やGIS(地理情報システム)を活用し、データを読み解く力を高めます。データ活用能力は根拠に基づく論理的思考力を養い、大学や社会に出てからも役に立ちます。

04



情報を
使いこなす力

共通テストで求められる 資料の読解力が身につく

多様な主題図と統計資料から、現代世界の動向を捉え、資料を読み解く方法・着眼点を示して、「資料の見方・読み解く力」を養います。共通テストで問われる資料の読解力を身につけることができます。

05



学びを継続させる
サポート

充実した補助教材があるから安心

教科書の記述を補完して説明した教師用指導書、テキスト、画像、スライド、問題例など授業でフル活用できるデジタルコンテンツ、さらに知識の定着を助ける準拠ノートと、授業の準備から生徒のアウトプットまであらゆる場面で質の高い授業設計を支援します。

06



学びを継続させる
サポート

観点別評価をサポート

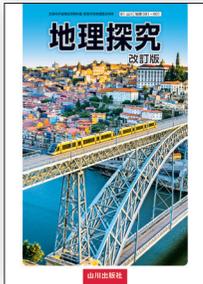
「観点別評価」に完全対応した振り返りシートを用意しました。單元ごとの評価ポイントが明確で、生徒の達成度が可視化されます。データ配布により編集も容易で、先生の校務負担を大幅に軽減します。

地理探究教科書の決定版

地理探究 改訂版

地探081-901

B5判・342ページ



代表者

呉羽 正昭 筑波大学教授
中西 僚太郎 筑波大学教授

著作者

池田 敦 筑波大学准教授
伊藤 徹哉 立正大学教授
小田 宏信 成蹊大学教授
桐越 仁美 国士舘大学准教授
駒木 伸比古 愛知大学教授
中嶋 則夫 大正大学教授
永田 成文 広島修道大学教授
藤井 一至 福島国際研究教育機構ユニットリーダー
松尾 昌樹 宇都宮大学教授

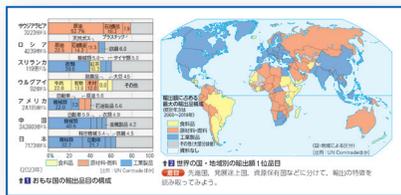
峯田 史郎 都留文科大学准教授
山下 亜紀郎 筑波大学助教
吉田 国光 立正大学准教授
菊池 美千世 前お茶の水女子大学附属高等学校副校長
井出 健人 ラ・サール中学校・高等学校教諭
中山 秀晃 東京都立戸山高等学校主幹教諭
松本 穂高 茨城県立竹園高等学校教諭
松本 至巨 東京学芸大学附属高等学校教諭
株式会社 山川出版社

編集協力者

大伴 一成 東京都立八王子東高等学校主任教諭
川久保 典昭 茨城県立日立第一高等学校教諭
清沢 創一 長野県松本深志高等学校教諭
小河 泰貴 岡山県立岡山朝日高等学校教諭
名倉 一希 海城中学高等学校教諭
西本 忠夫 六甲学院中学校・高等学校教諭
松永 謙 早稲田中学校・高等学校教諭
宮路 秀作 学校法人高宮学園代々木ゼミナール講師

改訂ポイント ① 地理総合の基礎力を踏まえ、地理探究の実践力へ

「地理総合」で培った世界の諸課題や地図スキルの基礎は、現代を生きるための貴重な土台となります。『地理探究 改訂版』では、その既得の知識を最大限に活用し、自ら「問い」を立てて解決する力を養う、探究学習に最適な一冊です。前回の「地理探究」(地探703)から16ページ増やし、特に系統地理分野の充実をはかりました。



3 世界を結ぶ貿易

世界の貿易と国際化
国交開拓の時代からサービスを取り替えることを貿易といいますが、輸出入の動きは、世界の国々を結びつけています。貿易は、世界の国々を結びつけている。日本をはじめとするアジアの大部分やヨーロッパ、北アメリカでは工業製品が輸出の大部分を占めており、貿易額も大きい。それに対して、アフリカや南アメリカ、西アジアでは、食料品や原材料・農産品など工業品以外の輸出品が多いとされている。

貿易の歴史
1940年代までは、先進国上回りが工業製品を生産する国という貿易構造がとどまっていた。その後、発展途上国でも工業製品の輸出に依存するモノカルチャー経済(単一経済)が拡大し、先進国との経済格差が大きくなり、南北問題と呼ばれるようになった。そのため、国際貿易機関(通関手)などのようなもので、発展途上国の輸出を拡大し工業化を促すために発展途上国からの輸入関税を引き下げたり特恵関税など優遇措置がとられるようになった。1980年代になると、韓国やメキシコなどで輸出指向型の工場が建ち、先進国との間で工業製品を相互に輸出入する水平貿易が進んだ。さらに、2000年代に入ると、安価な労働力を求める多国籍企業や多国籍企業による国際貿易の拡大によって世界の貿易額も急激に増加した。また、近年では中国やインドは、先進国の多国籍企業や工場が輸出した。特に、中国では工業生産が拡大し、2000年代後半には世界の輸出入総額となった。

グラフ・写真の読み取り方を示し、「思考力」「判断力」を備えさせる

地理総合で学んだ内容をさらに深掘りする注釈

本文の「まとめ」とさらに自ら探究活動ができる「考察」を設置

改訂ポイント② 激動する世界の「今」を特設ページとコラムで捉える

本教科書では、「今、この瞬間の世界」をリアルに捉えるための特設ページと多彩なコラムを大幅に拡充しました。特設ページでは、「地球を探る」「資料を読み解く」「ケーススタディ」を新設し、丁寧な文章と資料を取り揃え、地理的な視点から問題解決の糸口を探る手助けをします。また、「地理を深める」コラムでは、教科書の中の知識と実社会をつなぎ、生徒の疑問を解決する手立てとなります。

ケーススタディ 「バリエモントウクライナの紛争」

シオニズム運動とアラブ・ナショナリズム

一つの土地をめぐる争いはなぜ生じたのだろう。世界のユダヤ人は、なぜパレスチナの人を離らす土地に、自分たちの国家を建設しようとしたのだろうか。この争いに宗教はどのようにかかわり、なぜ大きな影響を与えているのだろうか。

何が問題になっているのか争点・着眼点をリード文で丁寧に説明

ヨーロッパとロシアのほざまで揺れるウクライナ

ロシアがウクライナを侵襲は報じられ、国際情勢が激変している。ウクライナは歴史、地理と、ロシア系住民の多い東部・南東部で文化的背景が異なる。独立後の他国は、ロシアがヨーロッパ諸国やロシアとどのような関係であることを望んだのか、それぞれ立場から考えよう。

ウクライナ侵襲の経緯

ロシアがウクライナを侵襲した経緯は、2014年のクリミア半島の併合と、2022年の全面侵襲にまで遡る。この経緯を踏まえ、ウクライナとロシアの関係を整理しよう。

ウクライナ侵襲の背景

ウクライナは歴史的に東洋と西洋の接点にあり、東洋と西洋の文化が交差する国である。この背景を踏まえ、ウクライナとロシアの関係を整理しよう。

ウクライナ侵襲の国際情勢

ウクライナ侵襲は、国際情勢に大きな影響を与えている。この影響を踏まえ、国際情勢を整理しよう。

改訂ポイント③ 共通テストに必要な知識と技能を確実に習得

現代世界を映し出す新しい主題図を盛り込み、大学入学共通テストで求められる「思考力」「判断力」を育成します。また、「地理の技能」ページでは、地形図・主題図・写真を読み解くスキルの習得をはかります。さらに各所に配置した二次元コードからは、地理院地図やWebページ、統計データといった生徒の探究活動をサポートするコンテンツを閲覧することができます。

資料 読み解く

統計から読み取る

統計から読み取る能力を育成します。また、「地理の技能」ページでは、地形図・主題図・写真を読み解くスキルの習得をはかります。

共通テストで問われることの多い資料の読解力を鍛えます

統計から読み取る関係の変化

世界の貿易関係は中・長期的な経済成長によって大きく変化している。その関係性を読み取る能力を育成します。

統計から読み取る関係の変化

世界の貿易関係は中・長期的な経済成長によって大きく変化している。その関係性を読み取る能力を育成します。

統計から読み取る関係の変化

世界の貿易関係は中・長期的な経済成長によって大きく変化している。その関係性を読み取る能力を育成します。

「データブック」を発行している山川だからこそ、統計資料の豊富さと信頼感があります

先生方が実感したエピソード

Episode 1

**社会の新しい動向が
載っていて、
常にアップデートして
いるところが信頼できる**



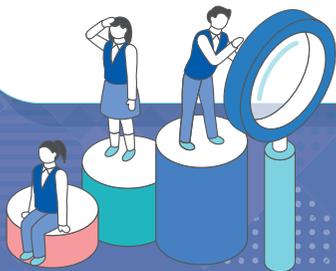
地理という科目の特性上、常に動き続ける世界の動向をいかに生徒に教えるかが大事だと思います。その点、山川の地理探究は社会の動向に関する記述や統計資料について新しいものにアップデートしているため、生徒も最新の動向に触れながら授業に臨んでいます。

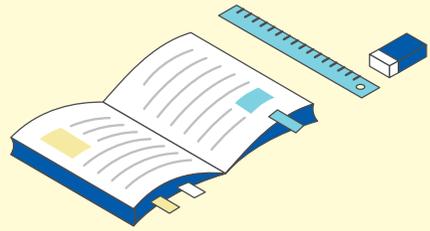
Episode 2

**必要な情報が
載っているので、
共通テスト対策として
重宝しています**



本文記述のわかりやすさ、情報量の多さに加え、思考力・判断力を磨くような問いかけや、様々な図版を掲載しているので、この教科書を読みこなすことがそのまま共通テスト対策になっていると実感しています。





Episode 3

**「海洋」の特設ページは
着眼点が面白い**



これまでありそうでなかった「海洋」に関する特設ページは、地域間の交流や交易、結びつきの変化などを「海」を通して表しており、地誌学習をするなかで、生徒も地域と地域を結ぶ巨視的な視点で世界を見ることを学んでいます。

Episode 4

**周辺教材が
揃っているので、
授業準備が格段に
楽になりました**



教師用指導書や準拠ノートはもちろんですが、ICTライブラリにある問題データ、画像データ、スライドファイルなどを活用することで授業準備の幅が広がりました。他校の先生の授業実践例も多く載っているので、自分の授業設計にも参考にしています。

地理探究 改訂版 | もくじ

自然環境

最新の学説をふまえて、意欲的に記述の見直しをはかりました。

変動帯と安定地域 世界の大地形について、これまで造山帯という新旧の分類で地形の起伏を解説していましたが、「改訂版」ではプレートテクトニクスの理論によりメカニズムを重視した記述に改めました。

さまざまな環境下の地形 寒冷地や乾燥地などの環境下における地形の記述を整理し直し、そのような地形が形成される成因を丁寧に解説しました。

土壌の種類 国連食糧農業機関（FAO）などが採用する国際的な土壌分類に基づき、世界の土壌を12種類に分類しました。そのすべての土壌について写真を掲載し、生徒の理解度を高めました。

ケッペンの気候区分の判定の流れ ケッペンの気候区分判定図をフローチャート型に改めました。生徒が実際に判定をする際、迷うことなく作業をすることができます。

農林水産業 農業の諸条件を丁寧に改め、独自のチャート図を使って理解を促しました。また、伝統的～商業的～企業的農業の項目を整理し、体系的に理解を測れるように工夫しました。

もく

SDGsクイズから考える持続可能な開発 i
はじめに iii
SDGsクイズの答えと解説 6

第1編 現代世界の系統地理的考察

第1章 自然環境

1 地形 8
1 地球の表面の形と地形をつくる力 8
2 変動帯での地形の形成 10
3 地震と火山 12
4 安定地域の広がり 14
5 河川がつくりだす地形 16
6 海岸にみられる地形 20
7 さまざまな環境で形成される地形 22
地球を深る さまざまな時間スケールの気候変動 23
2 気候と生態系 30
1 水の循環と利用 30
2 海洋の循環 32
3 大気の大循環と気候 34
4 気候の地域性 36
5 植生とバイオーム 38
6 土壌 40
地球を深る 大陸移動から捉える生態系と土壌 42
3 世界各地の自然と生活 44
1 世界の気候区分 44
2 熱帯の自然と生活 48
3 乾燥帯の自然と生活 50
4 温帯の自然と生活 52
5 亜寒帯と寒帯の自然と生活 56
6 高山気候の自然と生活 58
ケーススタディ 高山気候を活かした生活 アンデスとアルプス 59
4 日本の自然環境と防災 60
1 日本の地形と地震・火山災害 60
2 日本の気候と気象災害 62
ケーススタディ 甚大な災害と支援 能登半島地震を例に 65
5 地球環境問題 66
1 森林減少と生物多様性の減少 66
2 砂漠化の進行と水資源問題 68
3 越境する汚染 70
4 地球温暖化の現状 72
5 地球環境問題への国際協力 75
地球を深る 温暖化緩和に向けた国際協力を考える 76
第2章 資源と産業
1 農林水産業 78
1 農業の諸条件 78
2 伝統的農業とその変容 80
3 商業的農業と企業的農業の発展 81
4 グローバル化・技術革新と農業 84
5 **日本を知る** 日本の農業とその課題 88
資料を読み解く 都市とその周辺で営まれる農業 90
6 **日本を知る** 世界と日本の林業 92
7 **日本を知る** 世界と日本の水産業 94
8 食料問題 96

系統分野と地誌の学習が連携し、世界の現状と

課題を **よりわかりやすく** 示すよう構成しました

じ

2 資源・エネルギー 98

1 社会の発展と資源の利用 98

2 世界のエネルギー資源とその課題 100

3 電力の利用と変化 104

4 世界の鉱物資源 106

5 資源・エネルギー問題 108

6 **日本を知る** 日本の資源・エネルギー問題 110

資料を読み解く エネルギーの課題と政策 112

3 工業 114

1 社会の発展と世界の工業化 114

2 工業の立地 116

3 世界の工業発展 118

4 繊維工業の発展 120

5 素材型工業と電気・電子機器工業の発展 122

6 自動車工業の発展 124

7 知識集約型産業への転換 126

8 **日本を知る** 日本の工業 128

4 第3次産業 130

1 サービス経済化と社会の変化 130

2 日本の商業の発達と現在 132

3 情報通信市場の拡大 134

資料を読み解く 大都市に情報通信業が集積する要因 135

第3章 人・モノ・金のつながり

1 交通・通信 136

1 世界を結ぶ交通 136

2 **日本を知る** 日本の交通 139

3 世界を結ぶ通信 140

資料を読み解く 成長する通信販売市場と物流 142

2 観光・貿易 144

1 世界を結ぶ観光とその課題 144

2 **日本を知る** 日本の観光の変化と課題 146

3 世界を結ぶ貿易 148

4 貿易の自由化と連携 150

資料を読み解く 統計から読み解く貿易 152

5 **日本を知る** 日本の貿易 154

第4章 人口、村落・都市

1 人口 156

1 人口の推移と分布 156

2 人口構成と人口転換 158

3 人口移動 160

4 人口増加地域、減少地域の人口問題 162

資料を読み解く ジェンダー平等の地域差と課題 164

5 **日本を知る** 日本の人口問題 166

2 村落・都市 168

1 集落の成り立ちと機能 168

2 都市の成り立ちと機能・内部構造 170

3 都市の拡大と都市システム 172

4 発展途上国の都市・居住問題 176

ケーススタディ 過密化による都市環境の悪化 グツカ 177

5 先進国の都市・居住問題 178

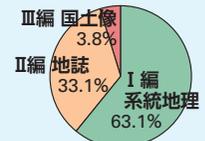
ケーススタディ 都市衰退からの復活 デトロイト 179

6 **日本を知る** 日本の都市・居住問題 180

系統地理

教科書 編別のページ数割合

世界的な視野から人々を取り巻く環境の多様性や国際情勢をとらえ、現代世界のかかえる地球的な課題の解決を担う力を養成します。



資源・エネルギー 節内の構成を改め、生徒に理解しやすいように配列を工夫しました。節末には新たに「資源・エネルギー問題」の項目を新設し、資源・エネルギーを取り巻く課題を取り上げました。

工業の分類 節内の構成を改め、生徒に理解しやすいように配列を工夫しました。「世界の工業発展」で概観し、工業の発展にしたがい「繊維工業」→「素材型、電気・電子機器工業」→「自動車工業」→「知識集約型産業」と項目を整理しました。

第3次産業の拡充 節内の構成を改め、「商業」「情報通信産業」を立項しました。節末には特設ページ「資料を読み解く」で、渋谷に情報通信業が集積する要因を資料とともに解説しています。

資料を読み解く 新規の特設ページ「資料を読み解く」では、統計や地図を用いながら、資料を読み解く力を養います。

人口の構成 節内の構成を見直し、人口増減、人口移動について生徒に理解しやすいよう新たな図版・コラムを取り上げて解説しました。特設ページ「資料を読み解く」ではジェンダー平等について大きく取り上げています。

村落・都市の構成 節内の構成を改め、生徒に理解しやすいように配列を工夫しました。特に都市・居住問題については、発展途上国と先進国とでページを分け、それぞれに直面する課題を事例（ケーススタディ）を用いながら取り上げています。

地誌

全10章に構成し直し、地域内外の関係がより明瞭になるように改訂しました。第1編の系統分野の学習を、地域の構造や変容、課題の視点から捉え直します。

民族問題 改訂版では、「言語」「宗教」を学んだあとに続けて「民族問題」の項目を立てました。民族間の相違点が対立の原因にもなりうることを、パレスチナは「宗教」、ウクライナは「言語・アイデンティティ」を例示することで、生徒の理解を促します。

対立と協調 改訂版では「陸地をめぐる対立と協調」「海洋をめぐる対立と協調」と地域紛争を陸と海に分けて解説しました。陸地と海洋では、国家がその場所を求める理由や、対立の背景が異なるため、項目を整理することで生徒の理解を助けます。

東アジア 現行教科書では「中国」「朝鮮半島」と分けてそれぞれで解説していましたが、改訂版では「東アジア」としてまとめ、主に日・中・韓の文化・政治・経済的な繋がりを巨視的にまとめました。

南アジア 近年、BRICS やグローバルサウスなどのリーダー的存在として国際社会で存在感を増すインドについて、スタートアップ企業の成長で世界からの注目を集めつつ、依然として残る国内の課題にも目を向けています。

西アジア・中央アジア 西・中央アジアの比較地誌において、経済発展・政治体制の記述を全面的に更新し、両地域の政治体制と国際関係を捉え直しています。特に民主化と政治体制についての記述は西アジア・中央アジアを理解するうえで重要な視点となります。

特設ページ 学習を深めるため、各分野に特設ページを設けています。地理の最前線の研究内容や、資料の読解力を養う内容、さらに事象の具体的な特徴・状況など、大学受験対策としても読んでおきたい内容です。

第5章 文化と国家

1 生活文化と言語・宗教	182
1 生活文化と世界の衣服	182
2 世界の食生活と住居	184
3 生活文化の画一化と多様性	186
4 世界の言語	188
5 世界の宗教	190
6 世界の民族問題	192
ケーススタディ パレスチナとウクライナでの紛争	194
2 国家とその領域	196
1 国家の形成と領域	196
2 陸地をめぐる対立と協調	198
3 海洋をめぐる対立と協調	200
4 日本の領域と領土に関する問題	202
5 国際連合の役割と課題	204
ケーススタディ 南極圏と南極条約	206

第II編 現代世界の地誌的考察

第1章 地域区分

1 現代世界の地域区分	208
1 地域区分の目的と方法	208
2 さまざまな地域区分	210
3 本書でとりあげる地域と考察方法	213

第2章 現代世界の諸地域

1 東アジア ▶項目ごとに整理	214
1 東アジアの自然	214
2 東アジアの歴史と文化	216
3 東アジアの人口と社会	218
4 東アジアの農業・水産業	220
5 韓国の産業と生活の変化	222
6 中国の産業と生活の変化	224
7 東アジアの国際関係	226
海洋① 環日本海～海上輸送の発達	228
2 東南アジア ▶項目ごとに整理	230
1 自然環境と農業	230
2 多様な民族文化	232
3 工業化による発展	234
4 地域共同体と国際連携	236
3 南アジア ▶項目ごとに整理	238
1 自然環境と農業	238
2 住民と文化	240
3 産業の発展	242
4 人口増加とグローバル化	244
4 西アジア・中央アジア ▶類似的な地域を比較	246
1 多様な自然環境と農業	246
2 民族と文化	248
3 資源開発の進展と経済発展	250
4 政治体制と国際関係	252
5 北アフリカ・サブサハラアフリカ ▶対照的な地域を比較	254

地球を探る 第1編1章の自然環境分野の現象や法則性について

資料を読み解く 第1編の各単元について、新たな視点の統計や

ケーススタディ 第1編 系統分野について具体的な事例を設定し

日本を知る 第1編 系統単元の各節に日本をとりあげ、世界

海洋からみた世界のつながり 第II編について、海洋に着目

ヨーロッパ 配列・構成を「自然・農業」→「文化」→「工業・エネルギー」→「人の移動」→「課題」に整理しました。シェンゲン協定の発効による人・モノ・サービス・資本の移動について項目を立て、EU内外の変化と課題について示しました。

1 自然環境と農業	254
2 歴史と文化	256
3 資源と産業の成長	258
4 地域紛争と経済成長	260
海洋② 環インド洋 ～交易と宗教文化	262
⑥ ヨーロッパ ▶項目ごとに整理	264
1 自然と農業	264
2 文化とヨーロッパの統合	266
3 工業とエネルギー	268
4 人と物資の移動	270
5 ヨーロッパ統合の課題	272
⑦ ロシアと周辺諸国 ▶体制転換に着目	274
1 ソ連からロシアと周辺諸国へ	274
2 産業と生活の変化	276
3 ロシアと世界の結びつき	278
海洋③ 北極圏 ～協調と対立の最前線	280
⑧ アメリカ・カナダ・メキシコ ▶項目ごとに整理	282
1 自然環境の多様性と自然災害の特徴	282
2 社会の多様性と多文化社会	284
3 食料生産で世界に影響を与える農業	286
4 工業の発展と産業地域の変化	288
5 アメリカを中心とした結びつき	290
⑨ ラテンアメリカ ▶植民の歴史に着目	292
1 混ざりあう民族	292
2 自然環境と農地の開発	294
3 鉱工業の移り変わり	296
4 地域内外との政治的・経済的關係	298
海洋④ 環大西洋 ～結びつきの変化	300
⑩ オセアニア ▶項目ごとに整理	302
1 島嶼国とニュージーランドの自然と産業	302
2 オーストラリアの自然と産業	304
3 オセアニアの多文化社会	306
4 オセアニアの世界との結びつき	308
海洋⑤ 環太平洋 ～開発と海洋保護	310

ロシアと周辺諸国 現行教科書では「ロシア」としていましたが、ベラルーシやウクライナなど周辺諸国との繋がりを深掘りするため構成を見直しました。

海洋・北極圏 「海洋からみた世界のつながり」に北極圏を新設しました。北極中心の図法から、アメリカがなぜグリーンランドに関心を示すのかも見えてきます。

アメリカ・カナダ・メキシコ これまでは「アングロアメリカ」という括りでアメリカ・カナダについて解説をしてきましたが、改訂版では近年の動向を踏まえて、メキシコを加えた3国による政治・経済的な結びつきという新しい機軸で解説をしました。

オセアニア 現行教科書では「オーストラリア」「ニュージーランドと島嶼国」と分けてそれぞれで解説していましたが、改訂版では「オセアニア」としてまとめ、オーストラリアを中心とするオセアニア地域の繋がりを捉えました。

日本の国土像

これまでの学習をふまえ、日本がかかえる課題について現状の把握から考察を進め、将来の国土像のあり方について展望します。

日本の国土像 2050年の人口予想を切り口にして、今後起こりえる課題を認識させ、生徒各々に課題の解決策と将来へのビジョンを構想させます。社会課題を遠い世界の出来事ではなく、自らの生活やキャリアに直結する切実な問いとして受け止め、具体的な行動へとつなげる探究心を引き出します。

巻末付録 巻末には「地理総合」で学んだ「地図とGIS」を取り上げ、地図学習の理解を確かなものにします。二次元コードを多く掲載し、教科書を開きながら確認・作業ができるのも特長です。

第Ⅲ編 現代世界におけるこれからの日本の国土像	
第①章 持続可能な国土像の探究	
① 2050年の日本のすがた	312
② 現代日本の国土像の探究	314
1 テーマ① 自然災害に強い国土をめざすには	314
1 テーマ② 産業の変化と持続可能な成長	316
1 テーマ③ 人口減少社会を活性化するためには	318
2 国土像の探究 ～エネルギーの安定供給をめざして	320
巻末付録 地図とGISの理解を深める	
① 地図の見方・考え方	324
② 地理院地図を活用しよう	326
③ ウェブGISの活用	328
④ GISを用いた統計学習	330
事項・地名・ローマ字さくいん	332
家畜・農産物一覧	337

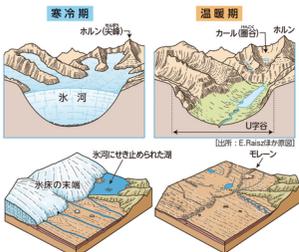
いて、専門的な知見や最新の研究を通して掘り下げます。地図を読み解くことで、現代世界の動向を捉えなおします。地域の特徴や状況、課題を考察できるようにしています。の学習をふまえ、日本の現状と課題について考察を深めます。して地域のつながりを歴史・文化などから読み解きます。

地理総合での学習をふまえ、さらに深めた自然分野

地理総合での地形学習は、生活文化や防災とのかかわりを中心に大観しましたが、「地理探究」では、成因や形成過程に焦点をあて、地理総合を深めながら、探究の内容に発展できるように整理しています。



① 山岳氷河 (スイス・アレッチ氷河, 2016年7月撮影) アルプスで最も長い氷河 (全長約23km) である。写真手前の氷河の幅は1.4km。



② 氷河地形 氷河の縁辺にできる堤防状のモレーンのほかに、氷河の底にたまった土砂によって特有の起伏もできる。

学習のテーマ

寒冷や乾燥した地域では、温暖湿潤な日本と異なる景観が広がる地域も多い。そうした地域ではどのような地形がみられるだろうか。

① 氷床は地形の凸部(山地)もほぼ埋めてドーム状をしている。南極氷床の厚さは最大で5000m近くに達する。



② 最終氷期の氷河 氷河の分布(資料より作成)
③ 直前の氷期(最終氷期)に氷床が最も拡大した範囲

7 さまざまな環境で形成される地形

寒冷地域の氷河地形 気温が低い高緯度や高山には、積雪は夏にすべて融けるが地下には永久凍土が広がる地域と、積雪が夏でも融け残り氷河を発達させる地域がある。氷河とは、積雪が長

氷床と過去の寒冷期

く厚みと密度を増した結果、自らの重みでゆっくりと動く。アルプスなど多くの山岳地域には、山岳氷河が形成され、その下流側にも過去の寒冷期につくられた氷河地形(氷河)が遺り残っている。氷河は岩盤を侵食する力は大きく、V字谷より幅広いU字谷や、山頂付近にスプーンでえぐられたような形のつくる。過去の厚い氷河が谷を大きく削り込んだため水深は深い。また、氷河にはさまれた尾根は山腹を削り、山腹に点在する緩斜面が牧畜に利用され、大きなU字谷が発達している例もある。

南極やグリーンランドを覆う巨大な氷床(氷河)とよばれる。④(図2下)。第四紀の大半は寒冷で氷床が広がった氷期であり、約4万年もしくは前後の間氷期とよばれる温暖期が訪れている(図3)。氷期には北アメリカ北部も氷床におおわれていた(図3)。氷河侵食し、例えば、現在は五大湖となっているくぼ地も氷床に運ばれた土砂が堆積して長大なモレーンを残した(図4)。

④ 氷期 氷河地形 氷河地形 モレーン 氷河(伏流水) 氷河(伏流水) 氷河(伏流水)

学習のテーマ

本見開きで学ぶことについて、着目点を示した導入文です。

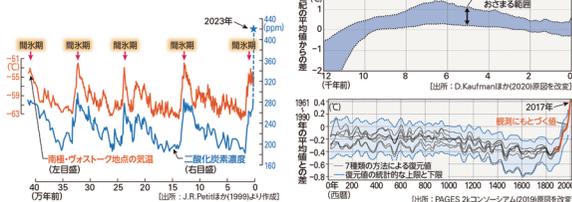
ワード 見開き内で取り上げた重要用語を欄外にまとめました。定期考査や受験対策としてご活用いただけます。

掲載している資料に対する読み取りや作業、設問を設定しています。

地球を探る

さまざまな時間スケールの気候変動

① テーマ設定 数万年、数千年、数百年と着目する期間を変えて気候変動をとらえ、現在進行形の温暖化の気温変化と比べてみよう。また、数万年間にわたる大きな気候変動が今日の地形の立ちにつながっていることを理解しよう。



② 南極氷床から得られた大気中二酸化炭素濃度と気温復元 気温の振れ幅は緯度および海深で大きく異なる。

③ 氷期・間氷期サイクル

人間活動によって20世紀後半から地球の気温が急上昇しており、人類は現在、その負の側面に直面している。一方で、気候は人間活動がなくても変動するものであり、例えば恐竜が繁栄した中生代は現在よりはるかに温暖であった。ここでは人類史に重なる第四紀(最近260万年間をさす地質時代名)の気候変動をみてみよう。

第四紀は、寒冷な氷期と相対的に温暖な間氷期が繰り返される時代である(図3)。氷期には北米や北欧に氷床が発達するが(図3)、その氷はもとをたざせば海から蒸発している。つまり、海の氷が陸上に移動するため、氷床が拡大すると海面が低下する。例えば、3万~1.5万年前の海面は現在よりも100m以上低下しており、大陸棚のかなりの部分が陸地となっていた。その時期に河川や氷河に刻まれた山地が、その後氷河が融けて海面が上昇して水没したところ、リアス海岸やフィヨルドがみられる。氷期には格闘であったサンゴ礁が、その後海面の上昇を避けて発達することで堡礁や環礁という陸から離れたかたちになった。寒冷期には植生帯が赤道側に移動し、それに伴って動物の生息地も変化した。さらに海面低下で海峽がせままった影響もあり、例えば本州の旧石器時代の地層から、北方より南下してきたヘラジカの化石が出土している。

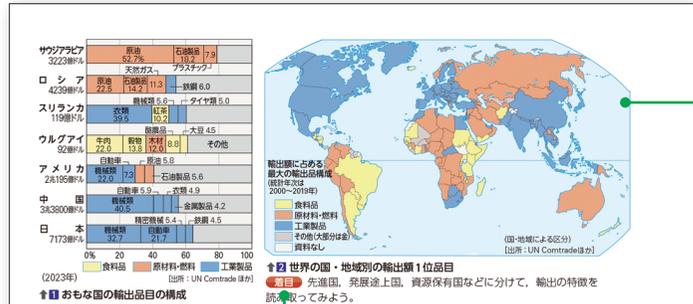
④ 後氷期の気候

およそ1万2000年前以降を後氷期とよぶ。後氷期は、直前の氷期(最終氷期)の終わりから現在まで続く間氷期のことである。最終氷期に比べると後氷期の気候は安定しており、その前半は約6500年前にかけてゆるやかに温暖化した(図3上)。一般に地球全体の平均値より、中高緯度の気候変動は大きく、日本において縄文時代前期は顕著な温暖期として知られている。また、氷河融解による急激な海面の上昇がおおよそ終息したのもそのころで、日本の低地は広く水没していた(縄文海進、p.19(図1))。その後海水量は微増したが、地殻変動や河川による堆積作用が打ち勝って海面に転じ、現在みられる低地が広がっていた。

20世紀以降の温暖化を除けば、後氷期の後半は寒冷化の時代である。特に16~19世紀の寒冷期は小氷期とよばれ、ヨーロッパや日本では歴史時代の寒冷期として知られる(図3下)。この寒冷期に、年ごとに変動する気象条件が重なるため、冷害による深刻な食料難がたびたび発生した(江戸時代の飢饉、ヨーロッパの「17世紀の危機」など)。

20世紀以降の温暖化と過去の気候変動を比べよう。また、現在の大気中の二酸化炭素濃度のもと、今後におこりそうなことを考えてみよう。

充実した統計資料
「データブック・オブ・ザ・ワールド」を発行している山川だからこそそのデータ資料の豊富さ、正確さには安心感があります。



地理を深める | 地域をこらえる

第1編 系統地理の学習のなかで、さらに深めたい今の動きをコラムとしてとりあげます。第2編 地誌では、各地域の新しい動向や深掘りしたい内容に焦点をあてます。

学習のテーマ

貿易を通じた世界の結びつきはどのように変化してきたのだろうか。

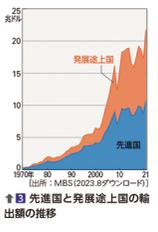
用語

- 1 南北問題 先進国と発展途上国の経済格差をいう。地理的な位置からつけたもので、発展途上国のなかでも、新興国や石油国と、サブサハラアフリカの発展途上国の経済格差を南北問題とよぶ。
- 2 特恵関税 先進国が発展途上国から輸入を行う際に関税率を引き下げられるので、発展途上国の支援を目的とする国際的な関税制度。

3 世界を結び貿易

世界の貿易 国家間の物資やサービスの取り引きのことを貿易といと広がり、輸入と輸出からなる。世界の国々は自国が競争力をもつ製品を生産し、輸出しあうことで結びついている。図1と図2で各国の輸出品目をみると、日本をはじめとするアジアの大部分やヨーロッパ、北アメリカでは工業製品が輸出額の大部分を占めており、貿易額も大きい。それに対して、アフリカや南アメリカ、西アジアでは、食料品や原材料・燃料などの1次産品の輸出が多いこと

貿易構造の 1960年代までは、発展途上国が1次産品を輸出し、先進国はそれをもとにする垂直分業がほとんどだった。その結果、発展途上国の輸出に依存するモノカルチャー経済(単一経済)の経済格差が大きくなり、南北問題とよばれるようになった。国連貿易開発会議(UNCTAD)などのよびかけにより、輸出を拡大し工業化をはかるために発展途上国からの輸出の特恵関税など優遇策がとられるようになった。1980年代には韓国やメキシコなどで輸出指向型の工業が発達し、工業製品を相互に輸出入する水平分業が盛んになった。これによって世界の貿易額は急増した(図3)。豊かな労働力を求める企業移転や多国経営の拡大によって世界の貿易額は急増した(図3)。豊かな労働力を求める企業移転や多国経営の拡大によって世界の貿易額は急増した(図3)。豊かな労働力を求める企業移転や多国経営の拡大によって世界の貿易額は急増した(図3)。



地理を深める

サービス貿易の具体例

国境をこえたサービスの輸出入をサービス貿易について、実際の例からみてみよう。外国旅行でホテルに宿泊すると、外国の事業者から観光サービスの提供を受けることになる。また、日本にいなくても、外国企業の通信販売を利用したり、来日アーティストの公演に出かけたりすると、外国のサービスを受けていることになる。さらに、外国資本の飲食店で食事をして外国のサービスを受けていることになり、いずれもサービス貿易に含まれる。こうしたサービス貿易の機会が増える一方、外国企業による国内での経済活動への課税や、特許・商標・著作権などの知的財産権の保護は、デジタル化やインターネット環境が変化するなかで、従来の国際ルールでは十分に保証できなくなっている。国家間の貿易協定や国際条約の見直しも求められている。

1 国境をこえる取り引き
例 コールセンターの海外へのアウトソーシング
海外からの対応
そのほか 外国のカタログ通信販売の利用など

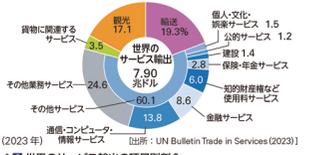
2 海外における消費
例 外国への観光旅行
海外旅行
サービス消費
そのほか 外国の企業施設を使った会議の開催など

3 業種上の地点を通じたサービス提供
例 海外現地法人が提供するサービス
海外からの消費
サービス消費
そのほか 海外支店を通じた通信サービスなど

4 人の移動によるサービス提供
例 外国人アーティストの来日による観客サービス
移動
サービス消費
そのほか 外国人医師の来日による患者サービスなど

サービスを提供する国 | サービスを消費する国 | 出所: 外務省資料による

サービス貿易の具体例



豆知識

本文に関連するトリビアや補足情報を載せています。話題を広げる題材として活用してください。

着目 図版について、その読み取り方や、着目ポイント、さらに作業を通した理解を促します。

サービス貿易の発展

物質の貿易に対し、金融や特許、技術、観光、輸送など、目に見えないものの売買をサービス貿易という(図4)。国家間の経済活動が活発になった結果、物資の貿易と並んで、サービス貿易の重要性が増している。その割合は、世界貿易全体の約2割に達するようになっている(図5)。

サービス貿易の中では輸送と観光が両者で全体の3分の1を占めており、基本の分野になっている(図5)。そのほか、情報通信サービスや金融・保険サービス、知的財産権の使用料などの輸出入も、国際分業やICT化の進展により増加し、サービス貿易が拡大している。

サービス輸出の上位国には、世界的に競争力のあるICT関連企業を有するアメリカ、イギリス、ドイツやアイルランドが含まれる(表2)。アイルランドでは、資金面の優遇制度などを背景に国際的なデジタル大手企業が拠点を構えており、ソフトウェアの開発・販売が行われている。

表2 サービス輸出の上位国

国	輸出額(億ドル)	構成比(%)
アメリカ	9,661	12.3
イギリス	5,810	7.4
ドイツ	4,345	5.5
アイルランド	3,971	5.1
中国	3,796	4.8
フランス	3,548	4.5
インド	3,439	4.4
シンガポール	3,277	4.2
オランダ	3,143	4.0
日本	2,009	2.6
世界計	78,397	100.0

出所: ジェトロ世界貿易投資報告(2024)

まとめと考察

まとめ 世界の貿易の構造がどのように変化してきたか説明してみよう。
考察 サービス貿易の拡大は地域にどのような影響を与えるか考えてみよう。

キーワード 貿易 垂直分業 モノカルチャー経済 南北問題 特恵関税 水平分業 国際分業 サービス貿易 知的財産権の使用料

統計や地図を読み解き、 新たな視点から世界の動向を捉える「資料を読み解く」

輸出依存度の高い国にはどのような特徴があるのか、中国とアメリカ、ヨーロッパの貿易不均衡はどのように推移しているか、統計資料から読み解きます。

【第1編2章～ 全6テーマ】

- 農業の商業立地 → 都市とその周辺で営まれる農業
- エネルギー問題 → エネルギーの課題と政策
- サービス経済化 → 大都市に情報通信業が集積する要因
- 第3次産業 → 成長する通信販売市場と物流
- 貿易統計 → 統計から読み解く貿易
- 人口問題 → ジェンダー平等の地域差と課題

統計から読む貿易関係の変化

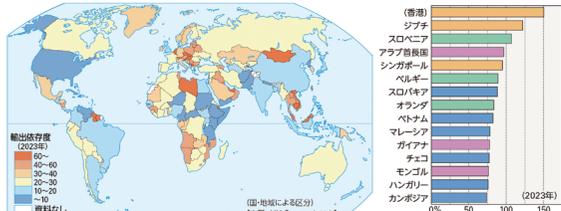
① テーマ設定 世界の貿易関係は中国や発展途上国の経済成長によって大きく変化している。そうした貿易関係の変化をさまざまな条件とともに考えてみよう。



資料を読み解く 統計から読み解く貿易

統計から読む輸出依存度の高い国

① テーマ設定 世界の国々は製品やサービスを輸出しあうことで結びついているが、現在、輸出に特化する国も多い。どのような地理的条件的もとで輸出依存度が高くなっているのかを考えてみよう。



① 世界の国・地域の輸出依存度

② グラフの色は輸出品のタイプの輸出比率 (出所: World Development Indicators)

輸出依存度の高い国

輸出依存度とは、国内総生産 (GDP) に対する輸出額の割合を示す。世界各国の貿易総額の上位国をみると、中国、アメリカ、ドイツ、日本など、国内総生産の高い国が上位を占めている。一方、小さな国や新興工業国、資源輸出国のなかには、輸出依存度が高い国がみられる (図1、図2)。国土が狭く経済規模が小さいと、国内市場だけでは産業がなりたらず、国外市場の開拓や国際関係の強化がはかられて、輸出依存度が高まる。

輸出依存度の高い国は四つのタイプに分けられる。図3の通航量の多い港湾が立地するシンガポールやジブチなどでは、周辺国から製品を集めて輸出する中継貿易が行われており、売買の種類やサービス料によって収益を得ている。②のチエコやベトナムなどは、経済協定による関税非課税を背景に輸出指向型の製品・部品を生産する輸出加工区を整備し、輸出を拡大している。③のスロベニアやオランダでは医薬品などの収益の高い特定品目の生産や輸出に重点をおく。④のアラブ首長国連邦やガイアナ、モンゴルなどは自国では消費が少ない資源産出国で、その輸出に特化することで資金を得ている。

① 中継貿易の拠点として発展

香港、ジブチ、シンガポール

通航量の多い港湾に立地する。金(非貨幣用)

精密機械: 8.9% (香港) 5739億ドル

機械類: 6.7%

② 輸出加工区として発展

スロバキア、ベトナム、マレーシア、チエコ、ハンガリー、カンボジア

EUやASEANなどの関税のからまない経済協定を活用して、輸出指向型の部品や製品の生産を進める。

医薬品: 45.7%

機械類: 17.8%

繊維製品: 17.8%

③ 特定の輸出品を重点化、多角化

スロベニア、ベルギー、オランダ

関税との関係や物流のしやすさを活かし、医薬品など特定の輸出品を強化したり、高収益の輸出品を扱い、利益を得る。

医薬品: 35.9%

機械類: 17.8%

繊維製品: 17.8%

④ 資源の輸出に依存

アラブ首長国、ガイアナ、モンゴル

自国での消費が少ない資源産出国で、輸出向けに生産される。

液化石油ガス: 66.3%

石油: 51.9%

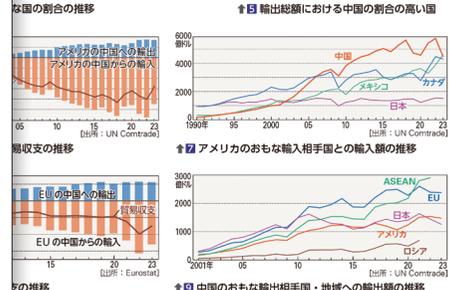
天然石: 1.9%

天然石: 1.9%

金(非貨幣用): 3.4%

石油製品: 3.7%

機械類: 8.4%



アメリカは中国に対する貿易赤字を緩和させるために関税上乗せなどで報復し、逆に中国もそれに対抗しており、貿易摩擦が激化している。それゆえアメリカの中国との貿易額は減少してきている (図2)。EU、日本の貿易総額が上り以後は中国や発展途上国総額の増大がみられる (図3)。中国製電気自動車 (EV) の輸入をめぐる対立もみられる。こうした貿易構造のなか、中国はASEANやロシアへの輸出を伸ばしており (図4)、中国の経済成長や景気動向が世界経済に与える影響が大きくなっている。

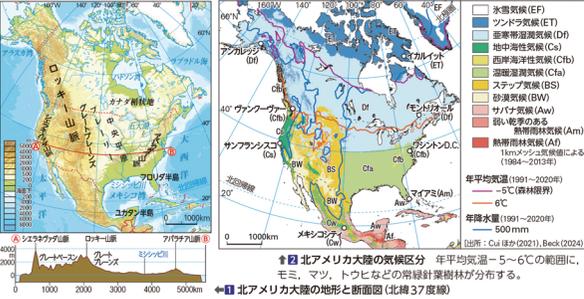
② 観光・貿易

⑤ 中国とEU間の貿易品目を調べ、両地域間の貿易摩擦を明らかにしてみよう。

TRY!

8 アメリカ・カナダ・メキシコ

項目ごとに整理 世界の政治・経済に影響を与えるアメリカを軸に考察する

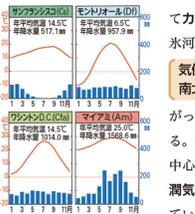


学習のテーマ

アメリカ・カナダ・メキシコの3か国が位置する広大な北アメリカ大陸の自然環境は、地域ごとにどのような特徴があるだろうか。

■ 用語

① **カナダ植床地** 先カンブリア時代に大陸氷河が地表を侵襲して平坦な地形をつくった。その岩盤が地表にあらわれたもので、有機成分が乏しく、農業に適していない。



② **アメリカ・カナダの主要地点の気温図**

1 自然環境の多様性と自然災害の特徴

広大な南北に連なる地形 北アメリカ大陸に位置するアメリカ、カナダ、メキシコの3か国は、アメリカ・メキシコを結ぶなど、社会や経済的に結びつきが強い。北規模な地形が南北方向に列状に連なるという特徴が、側には急峻なロッキー山脈が、東側には比較的なだやかな、それぞれ南北に走っている(図1)。その二つのメキシコ湾からカナダまで中央平原が広がり、中央メキシコ湾へ向かって流れる。大陸の北部には、氷河湖である五大湖と氷河による侵食を受けた影響がみられる。

気候の南北差 北アメリカ大陸の気候は、南北で大きく異なる。北極海付近にツンドラ気候、その南がアラスカやカナダ北部には、広大な寒帯気候や凍結する土壌は農業には適さない中心に発達してきた(写真②)。一方、北緯40度以南は温暖な気候が広がり、農業や商工業が盛んに行われ、通じて温暖な海岸の一部では、リゾート開発が盛んに行われている。

大豆 プーリーとは? フランス産で平原または牧草地の由来から、黒豆をさす。肥沃な黒色土が分布し、開発によってとうもろこしや大豆をさす。

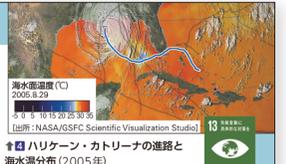
地球の課題の考察

気象災害リスクと対策

広大な北アメリカ大陸では、気象災害にも地域の特徴があらわれている。北部では暴風雪を伴う**ブリザード**、中央部では**トルネード**による被害が大きく、南部のメキシコ湾岸からフロリダ半島にかけては大型の**ハリケーン**が上陸して甚大な被害をおよぼす。2005年のハリケーン・カトリナは、高潮や洪水によってメキシコ湾岸のニューオーリンズなどで多数の犠牲者を出し、大きな経済的損失をもたらした(図3)。また、西部のカリフォルニア州などでは、秋から冬に乾燥した局地風が吹く年に大規模になりやすい(写真④)。アメリカでは、災害への対応を一元的に行う連邦緊急事態管理庁(FEMA)が設置され、市民生活や経済活動への支援を行い、海洋大気庁は気象警報などを発信している。



③ **カナダ西部での林業** (ブリティッシュコロンビア州ヴァンクーヴァー島、2017年11月撮影) 針葉樹を原料として建材やパルプ材、バイオ燃料などが生産され、輸出されている。



④ **ハリケーン・カトリナの進路と海水温分布(2005年)**



⑤ **大規模な山火事と消火活動** (アメリカ・カリフォルニア州、2025年1月撮影)



⑥ **アメリカ・フロリダ州の海浜リゾート(マイアミビーチ、2024年6月撮影)** 年間を通して温暖なリゾート地であるだけでなく、企業本社のフロリダへの移転も多い。

アメリカ・カナダ・メキシコという新機軸 従来の「アングロアメリカ」という枠組みをこえ、改訂版教科書ではアメリカ・カナダ・メキシコを「一つのまとまり」としてとらえました。USMCAやワールドカップ共催に象徴される、国境をこえた人・モノの流動性を重視し、アングロアメリカ・ラテンアメリカの枠をこえて、北米の「今」を映し出します。

気候の東西差 北アメリカ大陸では、気候の東西差も大きい。西経100度付近を境に、東側は年降水量が500mm以上で湿潤なものの対し、西側は乾燥帯になっている。太平洋岸をみると、海流や偏西風の影響を受けて、温暖な**西岸海洋性気候**や**地中海性気候**が分布している。サンフランシスコの気温の年較差は、ほぼ同緯度の大西洋岸のワシントンD.C.の年較差よりも小さい(図3)。

アメリカの中央平原でも、降水量に東西差がみられる。ミシシッピ川西側に広がる**プルーリー**では、適度な降水量に加えて土壌が肥沃なため、19世紀には**タウンシップ制**や**ホームステッド法**による農地開発が盛んに行われた。西側に向かうほど乾燥の度合いが強くなり、**グレートプレーンズ**とよばれる平原は、年降水量500mm未満で**ステップ気候**がおもに分布し、草原地帯に灌漑農業などが発達した。メキシコは、標高1,000~2,000mのメキシコ高原を中心に**温帯**となり、標高の低い南部や東西の海沿いの地域は**熱帯**に属しており、冬は**乾季**となる。

⑦ **カナダ植床地** 針葉樹林 温帯湿潤気候 地中海性気候 プルーリー タウンシップ制 ホームステッド法 グレートプレーンズ ブリザード トルネード ハリケーン

■ 用語

- ① **トルネード** (竜巻) 積乱雲の下で発達する渦巻き型の上昇気流で、局地的に猛烈な風を伴う。巨大なものでは、建物の破壊や人的被害をもたらす。
- ② **FEMA** 自然災害などへの対応を担う組織。大災害時における捜索活動や復興支援などを統括する。防災・危機対応策にも力を入れている。
- ③ **ホームステッド法** 1862年に成立した法制度。開拓民が5年間定住しながら開墾を続けると、公有地が約65ha無償で交付された。

まとめと考察

ポイント 北アメリカ大陸の自然環境や土地利用の特徴を、まとめてみよう。

課題 北アメリカ大陸でみられる気象災害と自然環境の関係および災害対策について、説明しよう。

海に着目して、地域のつながりを海洋から読み解きます

これまでの教科書ではみられなかった「海洋」ページでは、海を通じた交易や文化交流の歴史、結びつきの変化などを、海洋の地図でとらえることで、新しい世界観を浮かび上がらせます。改訂版では、新たに「北極圏」を取り上げました。

北極海の海水の融解が進むなか、対峙する国々の資源や航路、基地などを、地図とともに読み解きます。

【第II編 全5テーマ】

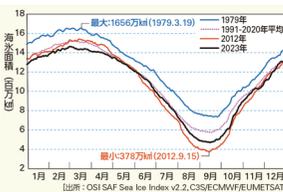
- 環日本海 → 海上輸送の発達
- 環インド洋 → 交易と宗教文化
- 北極圏 → 協調と対立の最前線
- 環大西洋 → 結びつきの変化
- 環太平洋 → 開発と海洋保護

各海洋を俯瞰する、迫力のある地図はこれまでの教科書・地図帳ではあまり目にする機会のない斬新な図です。



海洋からみた世界のつながり ③ 北極圏 ～ 協調と対立の最前線

ロシア、アメリカ、カナダ、ノルウェー、グリーンランドが向かい合い、それぞれの思想が交錯する北極圏。そのなかで、二つの北極海航路が、温暖化による海水の減少とともに注目されている。厚い氷に閉ざされた北極圏は、開かれた海になるのだろうか。



① 北極海の海水域面積の変化

北極海の海水域面積は季節により変化するが、1979年以降の長期的な傾向としてとらえると、減少が続いている。

北極圏をめぐる協調と対立

北極点を中心とした北緯66度33分以北の地域を北極圏という。北緯64度以北には恒久的な陸地はなく、北極点を中心に北極海が広がる。付属海を含む北極海の多くの部分は海水に覆われているが、海水域面積は地球温暖化の影響などで減少傾向にある(図1)。

北極圏では南極条約のような包括的な国際条約は締結されておらず、現状では、**国連海洋法条約**など海域の国際法をもとに、沿岸国が独自に航行のルールを定めている。そうしたなかでも、南極と同じように共通の課題を共有し、国際協力を進めていく取り組みもみられる。北極圏に領土をもつ8か国は、1996年のオタワ宣言をもとに**北極評議会**を設立し、閣僚会合を隔年で開催している。おもに持続可能な開発や海運、環境保護などの分野で協議が進められ、海難事故への対策や研究者の交流などで成果を上げている。

一方、北極海を挟んでアメリカ、カナダ、ロシアという三つの大国が対峙しており、安全保障面で対立している。そのため、南極条約のような包括的な条約の締結には消極的で、北極評議会の役割からも軍事・安全保障分野は除外されている。近年は、石油や天然ガスの豊富な埋蔵が確認され、これらの国々は海洋調査を行ったうえで**延長大陸棚**の申請を行っているが、詳細な海底地形や海水温など軍事機密の情報も多い。

② 貨物船を先導するロシアの砕氷船

(ゼムリヤフランツァヨシファ近海。2021年5月撮影)砕氷船による先導料金は、船舶の総トン数や通過するよりに決まっている。

二つの北極海航路

地球温暖化の影響などで北極海の海水域面積するなか、ユーラシア大陸とアメリカ大陸の結び、二つの航路が注目されている(図2)。

北極海航路は、ロシアの北岸を通り東アジアヨーロッパを結ぶ航路をいう。大部分はロシアの経済水域にあるが、航路にある幅の狭い三つの海難事故も多い難所でもあり、ロシアの内水

を航行するには許可を要する。アメリカは、北極航路を国際海峡とする見解から自由な通航を求めていて、両国は協議を通じて実務的な解決を模索している。

北西航路は、カナダの北極海諸島の間を縫うようにして北アメリカ大陸のアラスカとアメリカ東部を結ぶ航路である。パナマ運河を通らずに太平洋と大西洋を結ぶことができるため、ヨーロッパからアジアへの西回りの最短航路となる。しかし、航路の大部分はカナダの内水を通るため、船舶の無害通航権が認められず、通航には許可を要する。アメリカは、北西航路を国際海峡とする見解から自由な通航を求めていて、両国は協議を通じて実務的な解決を模索している。

③ 北極圏(北極中心の平射図法)

北極圏の今

自由と共存の地・スヴァールバル諸島



ノルウェー領のスヴァールバル諸島が、北極圏をめぐる対立の解消や国際協力のヒントとして注目されている。1920年に締結された**スヴァールバル条約**では、ノルウェーによる領有を認めるものの、加盟国が自由な経済活動を行う権利が保障され、軍事活動は禁止された。加盟国の国民は査証なしでスヴァールバル諸島に無期限で居住し、働くことができる。現在はノルウェーとロシアが石炭の採掘を続け、34か国以上の外国人労働者が働いている(写真)

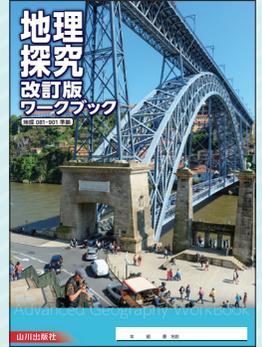
コラム「海洋の今」

各海洋の「今」をとらえるコラムを設けました。海洋の役割がますます重要になるなか、世界の新しい動向をおさえます。

地理探究 改訂版 ワークブック

地探 081-901 準拠

B5 判・112 頁・1 色刷 予価：770 円（10% 税込） 別冊解答付



Feature

教科書に準拠し、全分野・全地域を扱ったワークブックです。教科書の単元を 55 テーマに整理し、いずれのテーマも見開き 2 ページで構成しています。教科書で習った内容の応用問題や大学入試の過去問も掲載し、授業の復習としてだけでなく、大学入学共通テストの演習としても有効にご利用いただけます。

96 第 3 編 現代世界の地理的考察

第 2 編 現代世界の地理的考察

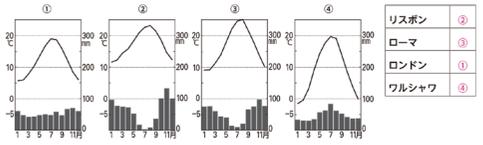
教科書 p.264 ~ 269

6 ヨーロッパ (1)

1 カルト	地形	1 自然と農業
2 横道平野		南部：地中海に面し、山地や台地。(1 地形)や火山地形 アルプス山脈には山岳水河に侵食された地形もみられる
3 ケスタ	地形の南北差	北部：地層が水平な(2)より盆地などで(3)を形成 2 万年前は氷河におおわれていた→スカンディナヴィア半島 西部の(4)、北ドイツ平原の(5)
4 フィヨルド		西部：海洋性気候→潮流の(6 潮)と(7 潮)の影響 メルエーのナルブイク→北緯 60 度以北だが(8 湖) 北緯に近い地域→夏季に(9)が長く 東部：冬季に強い気温の年較差が大きい(10 気候) 地中海沿岸：夏は高温で乾燥する(11 気候)
5 モレーン	多様な気候	アルプス以北：(12 農産)から穀物や畜産の専門化が進む 地中海沿岸：(13)やコルクがし、冬小麦など(地中海式農業) →灌漑の普及や都市化の進展で農業の豊かな場所も 大都市近郊：花卉や野菜を集約的に栽培する(14 農産)
6 北大西洋	高度	2 文化とヨーロッパの統合
7 東西	風	言語の地域性 言語の大部分がインド＝ヨーロッパ語族。一部で言語島を形成 西部の北：(15 語族)、西部の南：(16 語族)、東部：(17 語族)
8 不凍	港	ほとんどが(18 国)で共通する宗教として求心力をもつ 宗教の分布と特徴 南部：(19)、ラテン民族 北部：(20)、ゲルマン民族 東部→正教派、スラブ民族
9 白夜		EU 成立までの歩み 1952 年→ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC) 1967 年→ヨーロッパ共同体(EC) 1993 年→ヨーロッパ連合(= 21)→(22 年)の発効 1989 年：東欧革命→2004 年、東欧の国を中心に 10 が加盟 2020 年→(23)の発効 EU の拡大 1999 年→単一通貨(24)の導入→観光がからず労働市場も不要
10 大陸性	気候	3 工業とエネルギー
11 地中海性	気候	炭田と結びついで発達(例)ドイツの(25 工業地帯) 原料資源を輸入するため臨海工業地域の開発(例)(26 地区) 大都市周辺の機械工業や先端技術産業、国際分業によるトゥールーズの(27 産業)
12 混合	農業	都市の発展 ヨーロッパのメガロポリス(= (28))は EU の中心地域で、市街地が連続する連続都市(コナペーション)を形成
13 オリーブ		ヨーロッパ：鉱産資源やエネルギー資源が乏しい 発電の電源構成→その自然条件や資源の有無により異なる ポーランド：火力発電(石炭) フランス：(29 発電) 領土争いが安定して続く地域：風力発電 脱炭素社会の実現をめざす→(30)を打ち出し、2050 年までに域内の温室効果ガス排出量を削減目標にする政策
14 密林	農業	
15 ゲルマン	語族	
16 ロマンス(ラテン)	語族	
17 スラブ	語族	
18 キリスト	教	
19 カトリック(旧教)		
20 プロテスタント(新教)		
21 EU		
22 マストリヒト	条約	
23 イギリス		
24 ユーロ		
25 ルール	工業地帯	
26 ユロポート	地区	
27 航空機	産業	
28 ブルバ(ナナ)	エネルギーと環境政策	
29 原子力	発電	
30 欧州グリーンディール		

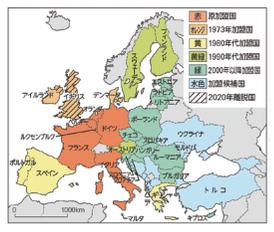
6 ヨーロッパ 97

【図表】1 リスボン、ローマ、ロンドン、ワルシャワの気候は、次の気温①～④のいずれにあたるか、それぞれ一つずつ選びなさい。



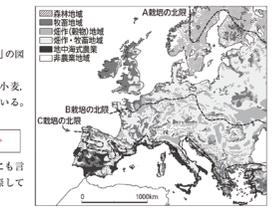
- リスボン ②
- ローマ ③
- ロンドン ①
- ワルシャワ ④

【図表】2 教科書 p.267 図 4 「EU の拡大過程」を参考に、右図を EU の加盟年代別に着色しなさい。また、EU について述べた次の①～④のうち、下線部が**不適当でないもの**を一つ選びなさい。



- ① EU には、ヨーロッパすべての国家が加盟しているわけではない。
- ② EU の前身は 1967 年に結成された EC である。イタリアは加盟国である。
- ③ 北欧のスウェーデンやフィンランドより、東欧のポーランドの方が EU に加盟した時期は早い。
- ④ イギリスは 1973 年に加盟したが、EU の規制や移民政策への不信から 2020 年に離脱した。

【生物】3 右の「ヨーロッパの農業地域」の図について、次の問に答えなさい。
(1) 図中の線 A～C はそれぞれ、小麦、大豆、ぶどうのいずれかの栽培の北限を示している。適切なものを選びなさい。



- A 小麦 B ぶどう C オリーブ

(2) 図の地中海式農業の特徴を、気候の特徴にも言及しつつ、簡潔にまとめなさい。解答に際しては、以下の語を必ず用いること。
(語群) 夏季 冬季 小麦

(解答例) 地中海性気候の特徴である、夏季の高温で乾燥した気候に適したオリーブやコルクがしなどの樹木作物の栽培と、冬季の降水を利用した小麦栽培を組み合わせた農業。

▲教科書 p.264 ~ 269「ヨーロッパ」に対応した頁の例(紙面の解答・解説は、本体には含まれません)

左ページ

左ページは、教科書本文を表形式にまとめ、教科書で取り上げられた、主に太字部分の地理の重要用語を確認させます。解答欄を欄外に設けたことにより、くり返し演習をすることができます。

採用特典

ワークブックのご採用校向けに、ワークブック本文のテキストデータ、本文 PDF データ(解答・解説あり/なし)をご用意いたします。

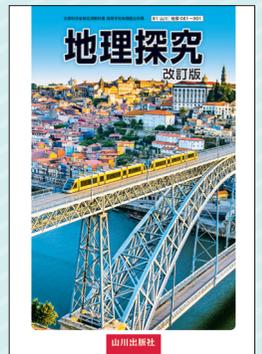
右ページ

右ページは、作業と演習問題から構成しています。問いは内容・レベルに応じて「基本」「標準」「発展」に分類しており、観点別評価を行う際に役立てることができます。教科書に掲載していない写真や統計、模式図から問いかけ、さらに大学入学共通テストの過去問も取り上げており、思考力や判断力を養います。

地理探究 改訂版 教師用指導書

地探 081-901 準拠

B5 判 1 色刷 (予定)



Feature

系統・地誌の全分野をしっかりと解説。1 授業時の「目標 (学習のテーマ)」と指導の流れを簡潔に示したうえで、本文や図表写真の地理的な背景や、新しい動向を丁寧に解説します。「まとめと考察」には、学習内容を確認させたいうえで発展的に考察させる指導例を掲載しています。

目標 (イントロ)

学習する意図・ねらいや重要な点、この項目で習得したい内容を示しています。

関連ページ

当該ページの内容に関連の深い地図帳掲載の分野を示しています。

▼現在制作中のため、内容は変更の可能性があります。

<p>p.282-287 2 時間 第2章 現代世界の地域 ⑩ オセアニア 項目ごと整理</p>	<p>1 自然と農牧業・鉱工業 p.282~283 編集者 高橋 誠 写真目録 ウルル(エアーズロック) (p.282) オーストラリア中央部の乾燥地帯に広がる険岳で、鉄分を多く含む砂岩から構成される一枚岩である。先住民アボリジナルの聖地でもあり、現在では周辺に居住するアボリジナルの一族であるナンガ族が所有する。1987年にはユネスコの世界遺産に登録され、聖地としての性格や安全性を考慮して、2019年からは一般観光客の登山が禁止された。ウルルは、アボリジナルのピチャチャチャ語による呼称だが、特定の意味を持たない。エアーズロックは、イギリスの探検家ウィリアム・エアーズにちなんで命名されたものである。</p>
<p>自然環境の形成に大きく影響したオーストラリアについて、自然、歴史的経緯、農業、資源、工業、世界との結びつきなどの関係を項目ごと整理して地域の特色を考察・理解させ、基礎的・本格的知識を習得させる。</p> <p>自然：国土の大部分が安定陸塊で侵食や堆積の進む侵食平野 亜熱帯高気圧の影響 → 砂漠や乾燥地帯が大半を占める 農牧業：広大な大地で行われる大規模な農業 プレートテクトニクス：オーストラリアは、オーストラリアプレートという巨大なプレート上にあり、南東部はインド洋プレートと衝突している。この衝突により、東部の山脈が形成されている。</p>	<p>⑩ オーストラリアの年降水量と土地利用 (p.283) 年降水量は、大陸の外縁に向かって増加する。農業も降水量に応じて発達し、年降水量250~500mm程度の地域においては牧草や牧牛を中心とする畜産業のほか、灌漑を用いた小麦栽培が行われる。年降水量800mm以上の灌漑用が可能な地域ではさとうきびが栽培される。また、都市周辺部においては農産物野菜栽培が盛んである。</p>
<p>⑩ オセアニアの自然環境の特徴は、最も乾燥した大陸である。大陸の分断によって独自の進化を遂げた固有種の存在も特徴であり、世界最大のサンゴ礁地帯もある。</p> <p>⑩ オセアニアの気候は、オーストラリアの自然環境の特徴を、最も乾燥した大陸である。大陸の分断によって独自の進化を遂げた固有種の存在も特徴であり、世界最大のサンゴ礁地帯もある。</p>	<p>⑩ オセアニアの気候は、オーストラリアの自然環境の特徴を、最も乾燥した大陸である。大陸の分断によって独自の進化を遂げた固有種の存在も特徴であり、世界最大のサンゴ礁地帯もある。</p>
<p>⑩ オセアニアの気候は、オーストラリアの自然環境の特徴を、最も乾燥した大陸である。大陸の分断によって独自の進化を遂げた固有種の存在も特徴であり、世界最大のサンゴ礁地帯もある。</p>	<p>⑩ オセアニアの気候は、オーストラリアの自然環境の特徴を、最も乾燥した大陸である。大陸の分断によって独自の進化を遂げた固有種の存在も特徴であり、世界最大のサンゴ礁地帯もある。</p>

おすすめの文献・URL

当該ページの内容に関連する良書やウェブサイトのURLを掲載しています。

学習内容の要点

学習内容の要点は、教科書中の重要用語や内容の関連性を簡条書きに整理しました。板書や授業プリント作成にお使いください。さらに、導入の問いかけや指導上の留意点については、付録DVD-ROMの授業シートに掲載しています。

「まとめと考察」の指導例

教科書の各ページ最後の「まとめと考察」では、①は学習した内容をまとめる問い、②はさらなる探究を促す問いを設定しています。それぞれの解説や、指導のヒントとなる問いを掲載しました。

図表写真解説 / 本文解説

図表写真解説では、図版・写真の詳細情報や着目ポイントを解説しています。本文解説では、単なる用語解説に止まらず、教科書に記述しきれなかった内容や新しい動き、類似した事例など、授業で活用しやすい内容を取り上げています。

デジタルコンテンツ集

	教材	形式	内容
01	教科書紙面	PDF	教科書全ページの紙面をPDF形式で収録。
02	教科書本文テキスト	txt	教科書紙面にある全テキストデータを、項目ごとにプレーンテキスト形式で収録。
03	教科書図版集	PNG	教科書掲載の全ての図版について、カラー、モノクロ、モノクロ文字なしの3種類の図版を画像形式で収録。文字なし画像はプリントや問題作成に便利。
04	教科書掲載問い・解答例一覧	Excel	教科書に掲載している問いかけの模範解答例を収録。
05	レイヤー分け地図データ	PDF	教科書掲載の主題図を凡例ごとに切り替えて表示できるPDF形式で収録。電子黒板などで図中の必要な凡例を選択し、その塗り分けを表示できる。
06	白地図	PNG	白地図の画像データを収録。世界6図、大州53図、地方52図、国76図、日本50図
07	授業用スライド	PowerPoint / Googleスライド	項ごと、1時限の授業の流れをPowerPoint / Googleスライド形式で収録。教科書の図・写真とともに、小見出しごとに内容を整理。最後の「まとめと探究」で考察を促す。授業に合わせて編集可能。
08	準拠ノート紙面	PDF	「地理探究」準拠版ワークブックの紙面をPDFファイルで収録。(解答別)
09	定期テスト問題	Word	教科書単元ごとに、教科書の内容からの出題とともに、新たな資料を読み解く発展的な問題など、定期考査向けの問題例をMicrosoft Word形式で収録。定期考査や小テスト用にアレンジが可能。一部の記述式の問題については観点別評価を掲載。(解答別)
10	地形図読図ワーク	PDF	教科書中の地形図の発問や作業について、配布用プリントとして収録。教科書の設問に加え、発展的な読図問題も追加。色ぬりの作業は解答例も掲載。
11	世界統計基本EXCELデータ集(MANDARA対応)	Excel / Word PNG	フリーGISソフト「MANDARA」やウェブGIS「MANDARA JS」に読み込んで地図化できる世界の主要統計を、解説や見本地図画像とともに収録。
12	年間指導計画表・評価規準例	Excel	教科書の年間指導計画表・評価規準を収録。学校のカリキュラムに合わせて加工可能。また、本書の各単元の最終ページにある参考文献のリストを収録。

これらのコンテンツは、制作中のため、内容・仕様は変更の可能性があります。

教科書紙面PDF



4 西アジア・中央アジア
 現在の地域とほぼ一致する二つの地域を考察する

高解像度のPDFを収録。画像を拡大すると、写真の細部まで詳細に表示できます

1 多様な自然環境と農業
 西アジアと中央アジアは、古くは「文明の十字路」とよばれ、アジアとヨーロッパを結ぶ交通路が発達し、人や物資の移動に重要な役割を果たした(「陸路」)。ほとんどが乾燥帯であり降水量が少ないことから、山地帯や平地に点在するオアシス

教科書図版集



カラー

全図版のカラー・モノクロ・モノクロ文字なし画像を用意。プリントや問題作成にたいへん便利です。

モノクロ

モノクロ文字なし

授業用スライド



定期テスト問題



1時間の授業の流れをPowerPoint形式で収録。

教科書の準拠問題や、共通テストや私大入試などを取り入れた発展的な問題を収録。

①中国 2 経済発展を支える人口

教科書p.198~199

人口政策の展開 (2)

各単元について、教科書の内容を整理。授業に合わせ編集可能。

中国では、**少子高齢化**が進む
生産年齢人口減少 (人口ボーナス期→人口オナーズ期)
 → 労働力不足 → **安価な労働力に支えられた経済は?**
 高齢化も日本を上回るスピードで進む

漢族と55の少数民族による多民族国家

自治が認められている
 ・自治区、自治州、自治県

経済発展遅れがち

権利が制限
 → 抗議行動・鎮圧

教科書p.198~199

中国の人口分布の傾向を、p.198図1とp.197図7の経済特区・経済技術開発区と比較して考えてみよう。

教科書p.198~199

I編1章④日本の地形

Word形式であり、教科書の進行や用途に合わせて選択・変更できます。

I編2章①農林水産業

資料の読み取りなど、大学入試の演習としても有効です。

地形図読図ワーク



教科書中の地形図の発問や作業を配布用プリントとして収録。教科書の設問をベースに、発展・探究的な読図問題も追加。

p.175 地理の技能 「交通網の発達による変化」

③-3 交通網の発達による変化 (山形県山形市)

① 1930年代の交通網

② 1950年代の交通網

③ 1970年代の交通網

④ 1990年代の交通網

⑤ 2010年代の交通網

地形図の色塗り作業だけでなく、地理院地図の各レイヤを活用して、地域の成り立ちを探究させる設問も掲載しました。

①扇状地の地形を読む (岐阜県養老町)

① 扇状地の地形を読む

② 扇状地の地形を読む

③ 扇状地の地形を読む

④ 扇状地の地形を読む

⑤ 扇状地の地形を読む

⑥ 扇状地の地形を読む

⑦ 扇状地の地形を読む

⑧ 扇状地の地形を読む

⑨ 扇状地の地形を読む

⑩ 扇状地の地形を読む

p.26 地理の技能 「扇状地の地形を読む」

◆◆ 教科書ラインナップ ◆◆

地理総合



地理総合 改訂版 世界に学び地域へつなぐ

地総081-901

代表者: 菊地 俊夫 (東京都立大学名誉教授)

判型 B5判

ページ数 262ページ

基礎から大学入試まで対応し、国際理解などで旧課程の「地理A」との互換性を保ちつつ、新科目の趣旨を踏まえて主題学習を行うことができる教科書です。



わたしたちの地理総合 改訂版

地総081-902

代表者: 井田 仁康 (筑波大学名誉教授)

判型 AB判

ページ数 230ページ

全67テーマによる主題学習を軸に据えた展開で、生徒の主体的な学習を促す多彩なアクティビティを設定した教科書です。

地理探究



地理探究 改訂版

地探081-901

代表者: 呉羽 正昭 (筑波大学教授)
中西 僚太郎 (筑波大学教授)

判型 B5判

ページ数 342ページ

必修科目である地理総合で学習した基本的な知識や技能を土台として、世界各地の多様な地理的特徴と、現代世界が抱える課題について、系統地理・地誌の2つの側面から考察・探究する教科書です。

地図



詳解現代地図 改訂版

地図081-901

判型 AB判

ページ数 190ページ

地理探究まで使える、
資料図が豊富な詳解現代地図



高等地図帳 改訂版

地図081-903

判型 B5判

ページ数 174ページ

世界地図・日本地図を多数収録！
地図が豊富な高等地図帳



基本地図帳 改訂版

地図081-902

判型 A4判

ページ数 182ページ

生徒が興味・関心を引く、
ビジュアル中心の基本地図帳



コンパクト地理総合地図 改訂版

地図081-904

判型 AB変型判

ページ数 182ページ

新しいカタチ、始まる
コンパクト地理総合地図

教科書特設サイト

各教科書の特徴や内容解説資料をご覧ください。



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13
TEL 03-3293-8131 / FAX 03-3292-6469

<https://www.yamakawa.co.jp/>